

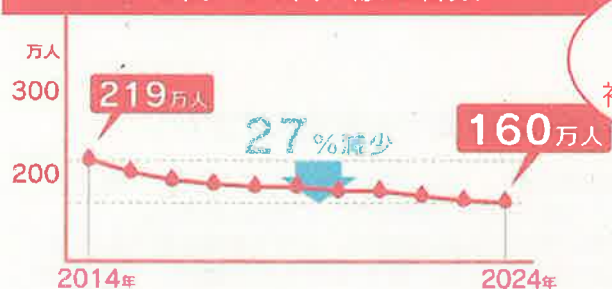


人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

献血とは がんなどの病気の治療や、手術などで輸血が必要な人を救うため、健康な人が自らの血液を無償で提供する**ボランティア**

10代～30代の献血者数



献血のご協力が急激に減っています！
 未来の患者さんの為にも初めての方、若い世代の方のご協力が必要です



採血基準 (400mL)

年齢：男性17～69歳・女性18～69歳※65歳以上の方は60代で献血したことある方のみ

体重：男女とも50kg以上

服薬：花粉症・アレルギー・血圧・コレステロール・痛風のお薬は献血OK！※一部、献血NGのお薬もあります。



献血の日です。

献血
月日

5月17日(日)

全血400mL献血会場です。(200mL献血の受付は原則学生のみ)

受付
場所

有限会社 光洋企業

扶桑町高雄海道田322-1

献血にご協力の方に粗品を進呈いたします

受付
時間

10:00～16:00



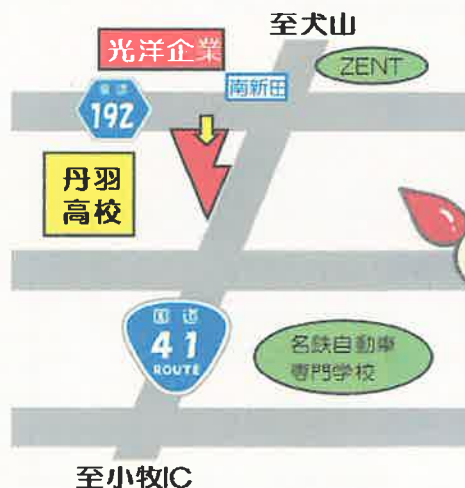
主催：有限会社光洋企業 地域貢献頑張り隊

共催：扶桑町献血推進協議会

連絡先：有限会社光洋企業 0587-91-1800 担当 小川・薮下

※地域貢献頑張り隊…奉仕を目的に活動する光洋企業の部隊

会場周辺図



献血をすると…血液型がわかる
 血液の健康状態がわかる
 患者さんの尊い命が助かる



愛知県赤十字血液センター

自然保護のため再生紙を使用しています。

献血の基準について

健康な方ならば、献血による身体への影響はほとんどありません。しかし、体調をくずしていたり、健康状態の良くない時に献血をすると健康を損ねる場合があります。献血者の健康を守るためにさまざまな基準を設けています。

(献血基準)

項目	全血献血		成分献血	
	400mL献血	200mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	400mL	200mL	600mL以下 (循環血液量の12%)	
年齢	男性:17~69歳*1 女性:18~69歳*1	16~69歳*1	18~69歳*1	男性:18~69歳*1 女性:18~54歳
体重	男女とも50kg以上		男性:45kg以上 女性:40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上 180mmHg未満			
最低血圧	50mmHg以上 110mmHg未満			
脈拍	40回/分以上 100回/分以下			
体温	37.5℃未満			
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性:13.0g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	男性:12.5g/dL以上 女性:12.0g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球数が標準値にある) 女性は11.5g/dL以上	12.0g/dL以上
血小板数	—	—	—	15万/μL以上
1年*2に献血できる回数 (1年は52週として計算)	男性:3回以内 女性:2回以内	男性:6回以内 女性:4回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	

*1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。

*2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

(献血の間隔)

今回の献血	全血献血		成分献血	
	400mL献血	200mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血*
200mL献血	男女とも4週間後の同じ曜日から献血できます			
400mL献血	男性は12週間後、女性は16週間後の 同じ曜日から献血できます		男女とも8週間後の同じ曜日から 献血できます	
血漿成分献血	男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます			
血小板成分献血				

*血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

献血Q&A

献血は誰でもできるの？

A. 献血者の健康面の安全を確保するため、また、輸血を受ける方の安全を守るために、献血を行っていただけるかの問診を行います。献血基準の主なものは、左図のとおりです。

また、輸血を受ける方の安全を守るため、HIV(エイズの原因となるウイルス)感染が疑われる方、輸血や臓器移植を受けた方、一定の期間に英国などへの海外滞在歴がある方等については問診で確認し、献血をご遠慮いただいています。

献血の際に、病気がうつることはありませんか？

A. 衛生環境は厳重に管理しているため、心配ありません。

献血をする時に使われる針や血液のバッグなどは、献血者一人ごとに新しいものと交換されますので、ほかの献血者から肝炎ウイルスやHIVなどがうつる心配は絶対にありません。

初めての献血ですが、400mL献血でも大丈夫ですか？

A. 献血前に医師が問診により健康状態を伺い、血圧や血色素量(ヘモグロビン濃度)を測定して、採血基準に適合するかどうかを判断しますので、ご安心ください。

ちなみに、人間の血液量は一般的に男性で体重の約8%、女性で体重の約7%といわれており、例えば、体重50kgの方であれば、男性は約4,000mL、女性は約3,500mL血液が流れています。

医学的にみて全血液量の15%以内が失われても問題がないことが報告されていますので、男性600mL、女性525mLまでの献血は問題ないことになります。

医療の現場では、どれくらい400mL献血の血液製剤を必要としているのでしょうか？

A. 全国の医療機関への赤血球製剤の供給は、97%以上が400mL献血由来の血液製剤となっております。



愛知県赤十字血液センターのホームページはこちら！

<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>

